



地域社会の

基盤を支えて

東日本機電開発株式会社 設立50周年記念誌

地域社会の基盤を支えて

東日本機電開発株式会社 設立50周年記念誌

地域社会の 基盤を支えて

東日本機電開発株式会社 設立50周年記念誌



社長挨拶

50周年記念誌発行にあたって

東日本機電開発株式会社 代表取締役 水戸谷 剛



2021年1月22日、当社は無事に設立50周年を迎えることができました。

これも偏に創業以来かかわりを頂いたお客様、取引先、金融機関や協力工場、株主の皆さま、社員とその家族、そして、存立の基盤として支えていただいた地域のおかげです。

これまでのご厚情に感謝申し上げます。

京セラを創業した稲盛和夫氏は、ある会社の周年にあたって、「謙虚にして驕らず、さらに努力を——現在は過去の結果、将来は今後の努力で——」とお話をされました。

現在に立派な会社があることは、過去に先輩たちが嘗々と積み重ねてきた努力の結果であって、決して未来の繁栄は保証されていない。未来は、現在の我々の努力にかかっている。栄枯盛衰は世の習い、まさに真理である。そういう意味では、企業も永遠に発展し存在することはできない。しかし、少なくとも生物的寿命のない法人は、決して慢心することなく、地道に、謙虚な姿勢で経営を続けていけば、50年はおろか、さらに50年、100年と続いていくことができる、と学びました。

当社もこの50周年を迎えるにあたり、皆さまとともに「過去・現在・未来」を共有する周年事業を企画してりましたが、昨年来の新型コロナウイルス感染症は、皆で顔を合わせ、密接に関わりあう機会に制約を与え、これらの企画も中止や変更を余儀なくされました。

しかし、創業からの歴史や想い、これまでの取り組みに学び、しっかりとこれからの仲間たちに伝えていくことは何としても行いたい。創業を知る先輩方の記録を残すことは今しかできない。このことから、ここに記念誌として記録し、皆で学びなおし、未来の仲間たちにもつなぎ共有していくことで、東日本機電開発の次の50年、100年を成し得られるようお願いいたします。この発行にあたっては、各方面より多大なご協力や温かいお言葉を頂戴しました。

改めてここに感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

2021年9月



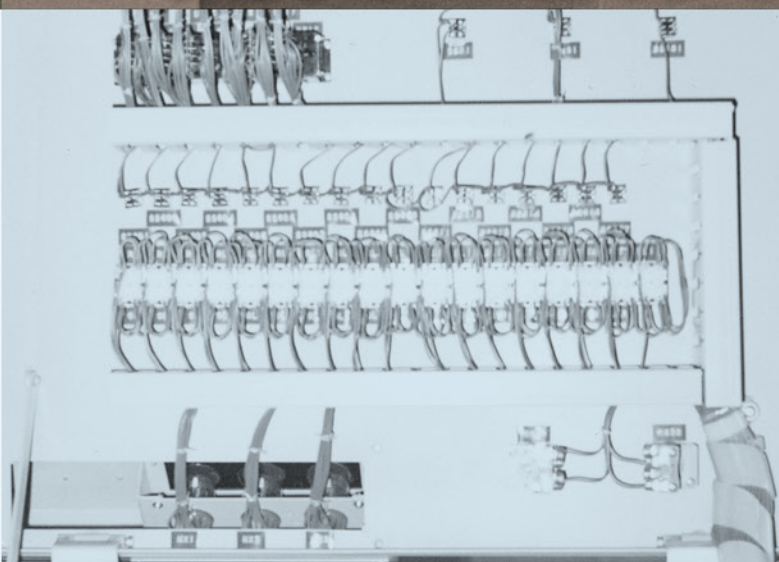
東日本機電開発 50周年

開発と成長のクロニクル



地域のお客様に頼られる 企業へのあゆみ

昭和45年10月—盛岡市下太田下川原で東日本機電開発株式会社は、小さな倉庫から創業した。お客様との信頼を築き、地域社会と環境に貢献し、発展をつづけてきた。初代社長・安倍協氏から現会長・水戸谷完爾氏、そして息子である現社長・水戸谷剛氏に受け継がれている。50周年の区切りに歴史を紐解き、未来へ向けて激動の時代を振り返る。



素顔にズーム

HKK日常アルバム

オンは真面目に、オフは自由に。
日々お客様の生活の中心を支える仕事を謹厳実直に取り組む東日本機電開発では、
地域の祭りへの参加や、社内レクリエーションも開催しています。
HKK社員たちの素顔を大公開。
(新型コロナの影響もあり、2020年、2021年の催事は中止しました)

